

2025 年 8 月 8 日

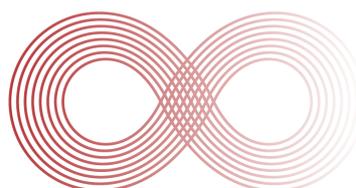
電通グループ、JCLP が制定した記念日「暑すぎる夏を終わらせる日」に賛同 8 月 8 日を、気候変動を“自分ごと”にする契機に

－ 「この暑さに、慣れてはいけない。」 －

株式会社電通グループ（拠点：東京都港区、代表者：代表執行役 社長 グローバル CEO 五十嵐 博）は、この度、一般社団法人日本気候リーダーズ・パートナーシップ（以下「JCLP」）が新たに制定した記念日「暑すぎる夏を終わらせる日」の趣旨に賛同することをお知らせします。

JCLP は本日、毎年 8 月 8 日を「暑すぎる夏を終わらせる日」として、一般社団法人日本記念日協会に登録し、この記念日を起点としたアクションを、一般社団法人日本ご当地キャラクター協会、一般社団法人ジャパンサステナブルファッションアライアンス、NPO 法人気象キャスターネットワークとともにを行うことを発表しました。

JCLP プレスリリース：<https://japan-clp.jp/archives/18923>



8月8日は 暑すぎる夏を 終わらせる日

■新記念日・「暑すぎる夏を終わらせる日」とは

日本各地で連日猛暑日が続く昨今、熱中症による死傷者の増加や労働・農業への影響、水害をはじめとする社会インフラの負荷拡大など、気候変動の影響が私たちの暮らしに深刻な形で現れています。にもかかわらず、こうした猛暑について「暑さ」としての言及はあっても「気候変動」と結びつけた報道や議論は限定的であり、気候変動対策への機運に結びついていないのが現状です。

JCLP はこの課題に対し、最も暑いこの時期に「暑すぎる夏を終わらせる記念日」を設け、「暑さ」を気候変動の問題として捉え直す社会的きっかけを作ることにしました。この記念日は、未来の世代のために気候危機を止めるという意味を共有し、“社会全体のシステム転換を進めていくための起点”とするためのものです。そして、そしてこの記念日の特徴は、「なくすため」の記念日であることです。私たち人類が気候変動を止めるという強い思いで行動し、温暖化を止めることができたときに、この記念日をなくすことを目指しています。

■電通グループの取り組みと賛同の背景

電通グループは、2030 価値創造戦略において、「事業を通して困難な社会課題を解決する未来のアイデアを生み出していく」ことにより、グループの企業価値を高めていくことを目指しています。当社グループの4つのマテリアリティ[※]の1つである「環境に関わるリスクと機会、レジリエンスを事業戦略に組み込む」を実践し、将来にわたって安定的な事業成長を実現することは、「暑すぎる夏を終わらせる」本記念日の趣旨とも整合するものです。

当社グループは、今後も B2B2S (Business to Business to Society) 企業として、クライアントやパートナーを含むあらゆるステークホルダーとともに、社会課題を解決し、社会全体の持続的成長を実現していきます。

< 記念日制定団体について >

一般社団法人 日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP) : <https://japan-clp.jp/>

脱炭素社会の実現には産業界が健全な危機感を持ち積極的な行動を開始すべきであるという認識の下、2009 年に発足した企業団体。幅広い業界から 230 社超が加盟 (2025 年 8 月時点)。加盟企業の売上合計は約 160 兆円、総電力消費量は約 80TWh (概算値)。2017 年より国際非営利組織 The Climate Group の公式地域パートナーとして、日本における RE100、EV100、EP100 の窓口・運用も担う。

※：詳細は、(株)電通グループ 2030 価値創造戦略ページをご参照下さい。

<https://www.group.dentsu.com/jp/philosophy/2030-value-creation-strategy.html>

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、中川

Email : group-cc@dentsu.com